

8. システムパラメータ

8.1 網側のタイマ

インタフェースの網側で規定するタイマ条件を表8.1に示します。

表8.1 網側のタイマ条件 (1/2)

タイマNo	タイマ値	状態	開始条件	正常停止条件	1回目タイムアウト	2回目タイムアウト
T301	3分	呼出中	「呼出」受信	「応答」受信	呼を切断復旧する	タイマ再設定無
T303	4秒 (注1)	着呼	「呼設定」送信	・P-Mの場合 「呼出」、「応答」、「呼設定受付」又は「呼設定確認」受信 ・P-Pの場合 P-Mの場合に「解放完了」受信を追加	・P-Mの場合 「呼設定」再送 T303、T312再設定 ・P-Pの場合 「呼設定」再送 T303再設定 ・「解放完了」受信の場合 呼を解放	網コネクション解放 ・P-Mの場合 「呼破棄」状態に遷移 ・P-Pの場合 「空」状態に遷移
T305	30秒	切断通知	“経過識別子(#8)”無しの「切断」送信	「解放」又は「切断」受信	「解放」送信	タイマ再設定無
T306	30秒 (注2)	切断通知	“経過識別子(#8)”有りの「切断」送信	「解放」又は「切断」受信	トーン/アナウンス送出停止、「解放」送信	タイマ再設定無
T307	180秒	空	「中断確認」送信	「再開確認」送信	網コネクション解放、呼番号解放	タイマ再設定無
T308	4秒 (注1)	解放要求	「解放」送信	「解放完了」又は「解放」受信	「解放」再送、T308再設定	「空」状態に遷移
T309	90秒	任意	データリンクレイヤ切断	データリンク再接続	網コネクション解放、情報チャネル、呼番号解放	タイマ再設定無
T310	10秒 (注4)	着呼受付	「呼設定受付」受信	「呼出」、「応答」又は「切断」受信 「切断」受信時は、理由保持、タイマ継続	「切断」送信	タイマ再設定無
T312 (P-Mの場合のみ)	T303+2秒	着呼、呼破棄等	「呼設定」送信又は再送信	タイムアウト	(注5)	タイマ再設定無
T314 (注7)	4秒	分割されたメッセージ受信	メッセージセグメント受信	最終セグメントメッセージ受信	メッセージを廃棄する	タイマ再設定無
T316 (注9)	120秒	初期設定要求	「初期設定」送信	「初期設定確認」受信	「初期設定」再送	「初期設定」再送(数回)(注11)
T317 (注9)	(注6)	初期設定	「初期設定」受信	呼番号の内部解放	保守通知	タイマ再設定無

表 8.1 網側のタイマ条件 (2/2)

タイマNo	タイマ値	状態	開始条件	正常停止条件	1回目タイムアウト	2回目タイムアウト
T 3 2 0 (注7)	30秒	a Bチャンネル アクセス : 通信中 b Dチャンネル アクセス : 空 c 最後の論理チャ ネルの切断復旧 時	a Bチャンネルアクセス 「応答」送信 又は受信 b Dチャンネルアクセス DL-設定- 確認又は DL-設定- 表示受信 c 最後の論理チャ ネルの切断復旧 時	発呼要求パケット受 信又は着呼パケット 送出又は「切断 」受信又はDチャ ネルアクセスにおいて DL-解放-表 示受信	a Bチャンネルアクセスリ ンク を切断し切断 復旧を開始 b Dチャンネルアクセス DL-解放-要 求を送信	タイマ再設定無
T 3 2 1 (注8)	30秒	全ての呼 状態	Dチャンネル 故障	レイヤ3メッセ ージへの応答受 信	両方のDチャンネルに DL-設定-要 求を送信	タイマ再設定無
T 3 2 2 (注10)	4秒	全ての呼 状態	「状態問合せ」 送信	「状態表示」「 切断」「解放」 「解放完了」受 信	「状態問合せ」は 数回再送信して もよい (注12)	「状態問合せ」は 数回再送信して もよい (注12)

(注1) このデフォルト値は、データリンクレイヤでのデフォルト値の使用を前提としています。

(注2) タイマT 3 0 6の値は、アナウンスの長さによります。

(注3) 保守状態として何の動作もとらず、「空」状態にします。

(注4) タイマT 3 1 0の値は、私設網の特性を考慮して変わる可能性があります。

(注5) 「呼破棄」状態において、呼番号は解放されます。その他の状態では何の動作も取られません。

(注6) このタイマ値は、インプリメントによりますが、T 3 1 6以下の値です。

(注7) メッセージ分割手順を行う場合は必須です。 未提供

(注8) Dチャンネルバックアップ手順を行う場合は必須です。 未提供

(注9) 初期設定手順を行う場合は必須です。

(注10) 状態問合せ手順を行う場合は必須です。

(注11) 当面、INSネットにおいては再送回数は、1回です。したがって、2回目タイムアウト時は、再送は行いません。

(注12) 当面、INSネットにおいては再送を行いません。

8.2 ユーザ側のタイマ

インタフェースのユーザ側で規定するタイマ条件を表8.2に示します。

表8.2 ユーザ側のタイマ条件

タイマNo	タイマ値	状態	開始条件	正常停止条件	1回目タイムアウト	2回目タイムアウト
T301 (注6)	3分以上	呼出通知	「呼出」受信	「応答」受信	呼を切断復旧する	タイマ再設定無
T303 (注6)	4秒	発呼	「呼設定」送信	「呼設定受付」 「呼設定確認」 「呼出」「応答」 又は「解放完了」 受信	「呼設定」再送 T303再設定	内部の接続を切断復旧し「解放完了」を送信、 ‘空’状態へ遷移
T305	30秒	切断要求	「切断」送信	「解放」又は「 切断」受信	「解放」送信	タイマ再設定無
T308	4秒	解放要求	「解放」送信	「解放完了」又は 「解放」受信	「解放」再送 T308再設定	情報チャンネル保守状態、呼番号解放
T309 (注1)	90秒	任意状態	データリンク切断	データリンク再接続	内部コネクション解放、情報チャンネル及び呼番号解放	タイマ再設定無
T310 (注5) (注6)	(注5)	発呼受付	「呼設定受付」 受信	「呼出」「応答」 「切断」又は 「経過表示」 受信	「切断」送信	タイマ再設定無
T313	4秒	応答	「応答」送信	「応答確認」 受信	「切断」送信	タイマ再設定無
T314 (注7)	4秒	分割されたメッセージ受信	メッセージセグメント受信	最終セグメント メッセージ受信	メッセージを破棄する	タイマ再設定無
T316 (注2)	120秒	初期設定要求	「初期設定」 送信	「初期設定確認」 受信	「初期設定」再送	「初期設定」再送(数回)
T317 (注2)	(注3)	初期設定	「初期設定」 受信	呼番号の内部解放時	保守通知	タイマ再設定無
T318 (注4)	4秒	再開要求	「再開」送信	「再開確認」又は 「再開拒否」 受信	理由表示#102 “タイマ満了による復旧” 含む「解放」を送信	タイマ再設定無
T319 (注4)	4秒	中断要求	「中断」送信	「中断確認」又は 「中断拒否」 受信	‘通信中’状態に遷移、ユーザアプリケーションに通知	タイマ再設定無
T321 (注8)	30秒	全ての呼状態	Dチャンネル故障	レイヤ3メッセージへの応答受信	両方のDチャンネルDL-設定要求を送信する	タイマ再設定無
T322 (注9)	4秒	全ての呼状態	「状態問合せ」 送信	「状態表示」「 切断」「解放」 「解放完了」 受信	「状態問合せ」 数回再送信しても 良い	「状態問合せ」 数回再送信しても 良い

(注1) タイマT309は、ユーザオプションです。

- (注2) 初期設定手順を行う場合は必須です (T 3 1 6、T 3 1 7 関連)。
(注3) このタイマ値は、インプリメントによりますが、タイマT 3 1 6以下の値です。
(注4) 中断、再開手順を行う場合は必須です (T 3 1 8、T 3 1 9 関連)。
(注5) 「呼設定受付」メッセージまたは先行する「経過表示」メッセージに経過内容 # 1 もしくは # 2 がある場合T 3 1 0は開始されません。

このタイマ値については、インプリメントしないことが望まれます。

また、インプリメントする場合には国際接続や私設網との接続など利用形態による信号遅延を考慮して適切に設定することが望まれます。参考として、T T C標準では3 0 ~ 1 2 0秒で規定されています。

未提供

- (注6) 対称な呼の運用に関する拡張を行う場合は必須です。
(注7) メッセージ分割手順を行う場合は必須です。
(注8) Dチャンネルバックアップ手順を行う場合は必須です。
(注9) 状態問合せ手順を行う場合は必須です。